

## さいたま市長メッセージ（令和2年10月28日）

皆さん、こんにちは、さいたま市長の清水勇人です。

本市では、10月26日までの1週間で、877件の検査を実施し、40名の新規陽性者が判明しました。クラスター関係者の検査が概ね終了したため、前の週と比べて26名減少しています。

本市では、感染拡大防止のため、9月以降に3件のクラスターが発生した大宮南銀座地区で、接待を伴う飲食店の従業員に唾液によるPCR検査を行うこととしました。10月21日に、実施通知書と検体採取容器を、対象となる201店舗に送付しており、順次検査を行ってまいります。

また、浦和区の劇団クラスターについては、濃厚接触者や劇団関係者以外にも対象を広げて検査を行い、10月24日時点で、劇団関係者以外に83名を検査し、新規陽性者は発生していません。

10月23日の国の感染症対策分科会が、新型コロナウイルス感染症は主に、クラスターを介して拡大するとして、感染リスクを高める5つの場면을提示しました。

これまでも示されている「飲酒を伴う懇親会等」や「大人数や長時間に及ぶ飲食」、「マスクなしでの会話」、「狭い空間での共同生活」といった場面のほか、「居場所の切り替わり」という新たな場面が示されました。休憩時間や、活動後の更衣室など、一息つくタイミングにも、気を緩めることなく、感染対策

意識<sup>いしき</sup>して行動<sup>こうどう</sup>しましょう。

10月31日は、ハロウィンの日<sup>ひ</sup>です。近年<sup>きんねん</sup>は、ハロウィンを楽しむ方<sup>たの</sup>が多く<sup>かた</sup>なりましたが、屋外<sup>おくがい</sup>であっても、密集<sup>みっしゅうじょうたい</sup>状態や、密接<sup>みっせつ</sup>な距離<sup>きょり</sup>で大声<sup>おおごえ</sup>を出す行為<sup>だ</sup>は感染<sup>かんせん</sup>のリスク<sup>たか</sup>が高<sup>たか</sup>まります。今年<sup>ことし</sup>は、リスク<sup>ちゅうい</sup>に注意<sup>ちゅうい</sup>しながらご家族<sup>かぞく</sup>や親<sup>した</sup>しい方<sup>かた</sup>だけで<sup>たの</sup>楽しんで<sup>おも</sup>いただきたいと思います。